施工説明書

工事店様・お客様へのお願い

本書は移設時など今後必要になる可能性がありますので、お客様にて大切に保管ください。

TOTO

アルカリスリム据置タイプ

TEK532型
TEK532－1型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

＜TEK532型、TEK532－1型 共通＞

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

●この説明書では商品を安全に正しく取り付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	⃠は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「分解禁止」を示します。
	❗は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。

⚠ 警　告

禁止	**指定する電源（AC100V）以外では使用しない** 火災の原因になります。
	電源コード・電源プラグが破損するようなことをしない **傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、挟み込んだり、加熱したりしない** 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。
	電源コードの加工（切断・継ぎ足し）を行わない 火災や感電の原因になります。
	ガタついているコンセントは使わない 火災や感電の原因になります。
	コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。
	水をかけない 電気製品ですので、火災や感電の原因になります。

⚠ 警　告

禁止	**火のついたローソク、蚊取り線香、たばこなどの火気や、揮発性の引火物を近づけない** 火災や変形のおそれがあります。
	屋内用のため、屋外には設置しない 感電や故障の原因になります。
分解禁止	**絶対に分解したり、修理・改造は行わない** 火災や感電の原因になります。 ※アルカリスリムは薬機法(旧薬事法)の対象機器です。修理改造は罰則対象になります。
接触禁止	**ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない** 感電の原因になります。
必ず実行	**電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って引き抜く** コードを引っ張ると、プラグやコードが傷んで、火災や感電の原因になります。

⚠ 注　意

禁止	**強い力や衝撃を与えない** 破損して、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
	湯側には接続しない アルカリスリムは水専用です。故障や水漏れの原因になります。
	凍結が予想される場所では使用しない 部品が破損し、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。 凍結による破損は、保証期間内でも有料修理となります。

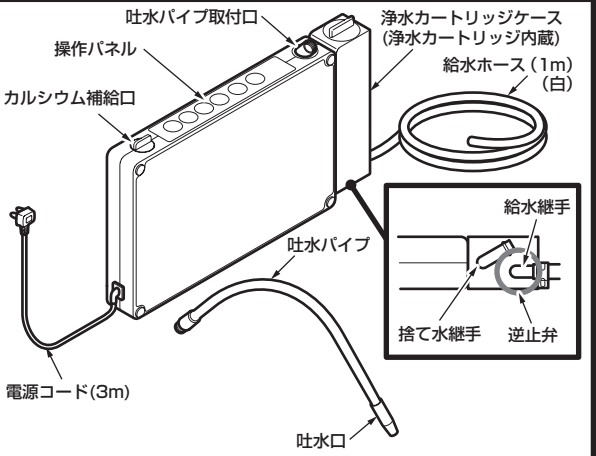
TEK532 ➡ 2 へ進む

TEK532－1 ➡ 裏面の 2 へ進む

2 部品の確認

※開梱後、下記部材が入っていることを確認してください。
※梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性がありますが、商品には問題ありません。

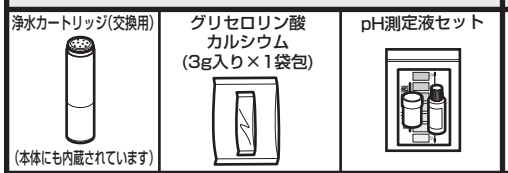
生成器本体



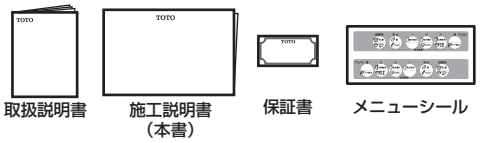
本体取り付け用



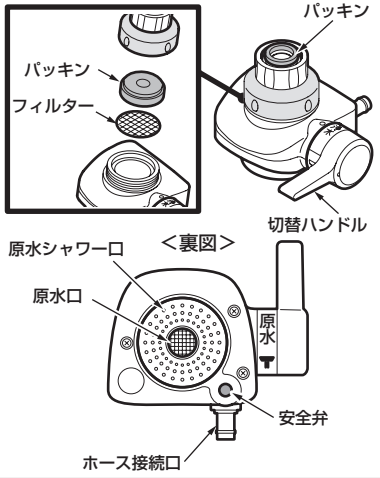
消耗部品



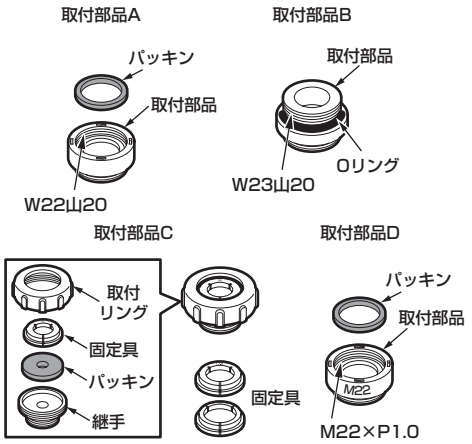
その他



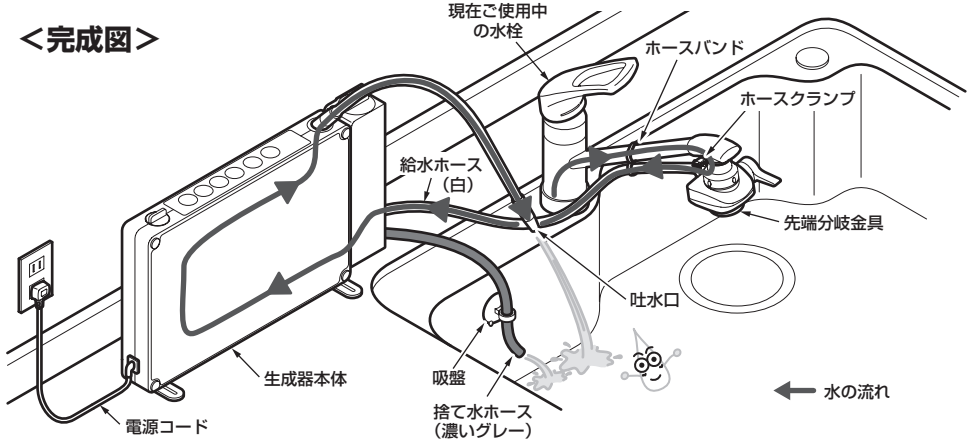
先端分岐金具（TEK532型）



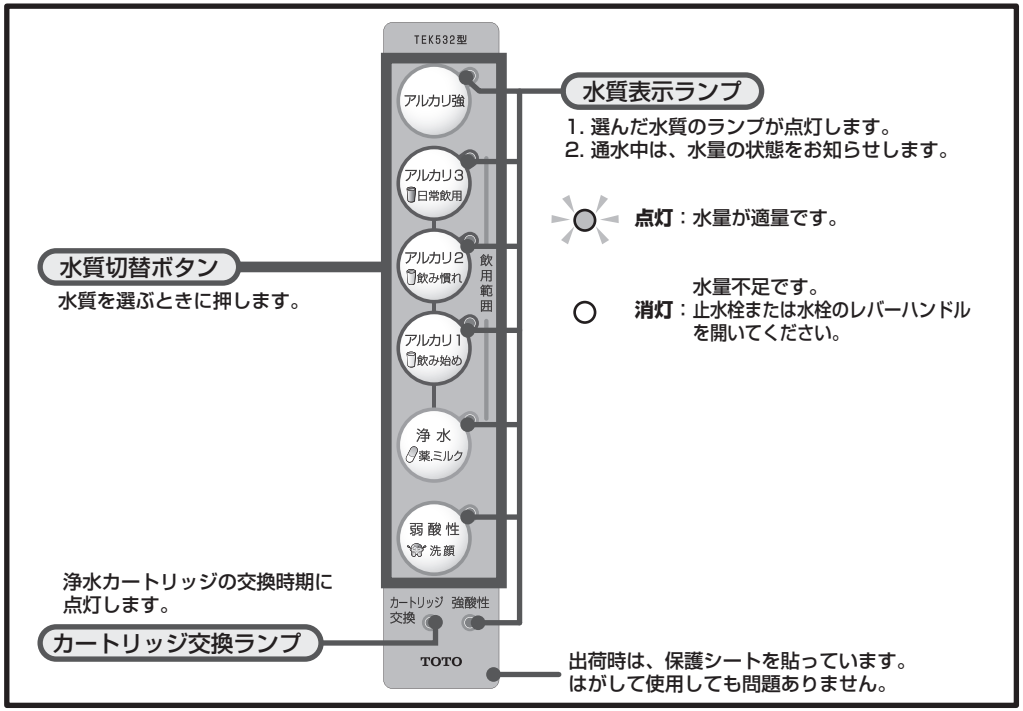
蛇口取り付け用(TEK532型)



＜完成図＞



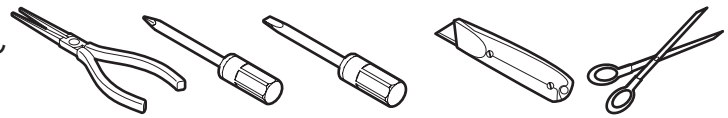
操作パネル



3-1 取付手順

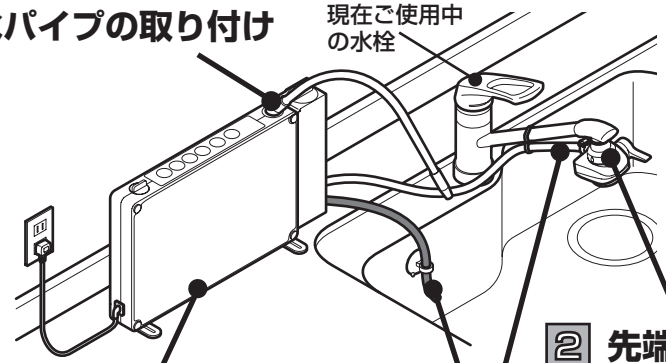
用意するもの

※設置位置により使用しない場合があります。



ペンチ　プラスドライバー　マイナスドライバー　カッター（ホース切断用）　はさみ（ホース切断用）

1 吐水パイプの取り付け



2 先端分岐金具の取り付け

3 設置方法および固定部品の選定

4 生成器本体の設置

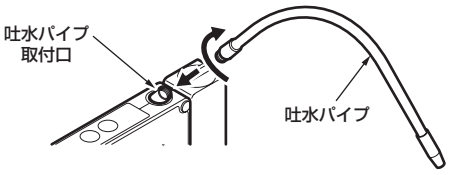
5 給水・捨て水ホースの取り付け

6 通水確認

お願い

生成器本体の上方から、ぬれた食器やまな板などのしずくがかからないようにしてください。

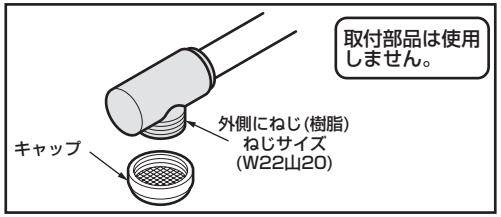
1 吐水パイプの取り付け

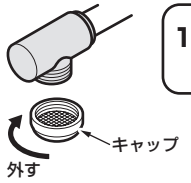


吐水パイプ取付口に吐水パイプをねじ込む。

2-1 取付部材の選択（ご家庭の水栓を確認ください）

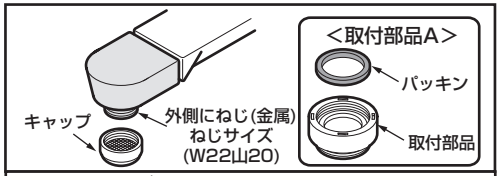
(1) ねじが樹脂で外ねじの水栓の場合

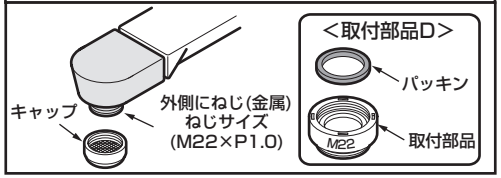




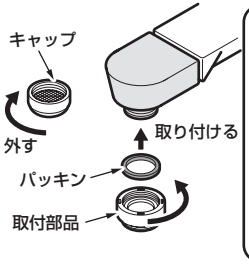
1. 水栓のキャップを外す。

(2) ねじが金属で外ねじの水栓の場合





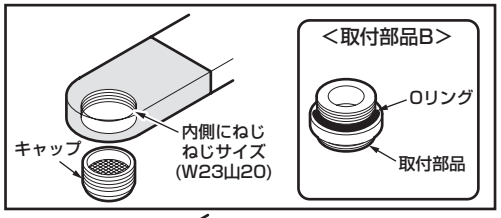
※ねじのサイズがわからないときは、パッキンを外し、取付部品A・Dの両方を水栓に取り付けてみて軽く回せる方を選んでください。取付時はパッキンを元に戻してください。

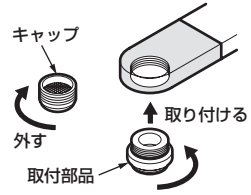


1. 水栓のキャップを外す。

2. 取付部品Aまたは取付部品Dを水栓の吐水口にねじ込む。

(3) 内ねじの水栓の場合

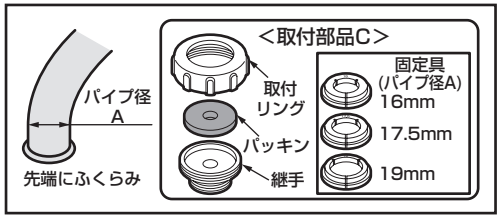


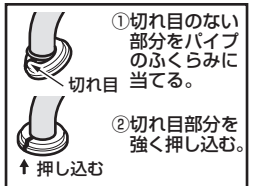


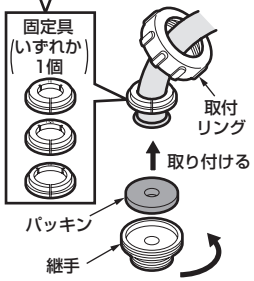
1. 水栓のキャップを外す。

2. 取付部品Bを水栓の吐水口にねじ込む。

(4) ねじがない先端にふくらみのある丸パイプ水栓の場合







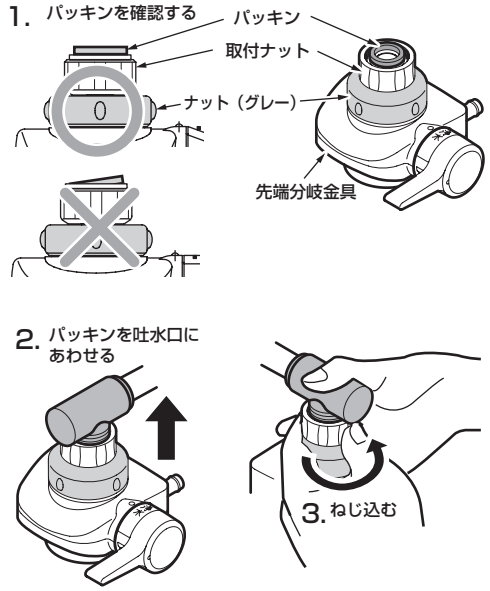
1. パイプの外径寸法を測り、固定具を選ぶ。

※P.7の「パイプ径測定用紙」を切り取ってご利用ください。

2. スパウトに取付リング・固定具の順に通し、パッキン・継手を取り付ける。

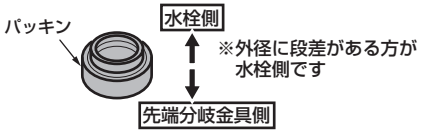
※左図のように固定具の向きに注意してください。

2-2 先端分岐金具の取り付け



1. 取付ナットを、ナット（グレー）の方へ押し下げて、パッキンが取付ナットに対して水平になっている事を確認する。

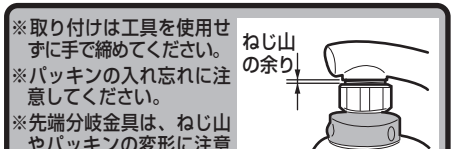
水平でないときは、パッキンを抜き取り、パッキンの方向に注意して取付ナットに真っすぐ差し込んでください。



2. パッキンを水栓の吐水口部に差し込む。

パッキンが吐水口部にはまらない場合は、パッキンを取り付け直してください。

3. 水栓と先端分岐金具を挟み込むように片手で保持して、取付ナットを水栓の吐水口部に真っすぐねじ込む。



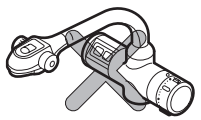
※取り付けは工具を使用せずに手で締めてください。
※パッキンの入れ忘れに注意してください。
※先端分岐金具は、ねじ山やパッキンの変形に注意して、水平に取り付けてください。
※水栓によってはねじ山が余る場合があります。

取り付けできない水栓

●先端部が10mm以下

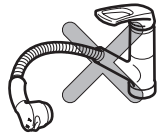


●センサー付き



TOTO製のセンサータイプ(TEK34UPA型)は取付可能です。

●シャワーノズル付き



●特殊なねじの寸法



●変形・先端の構造が特殊



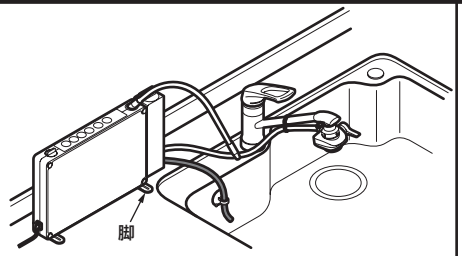
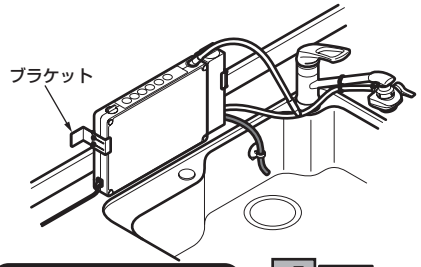
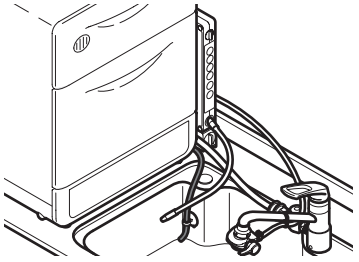
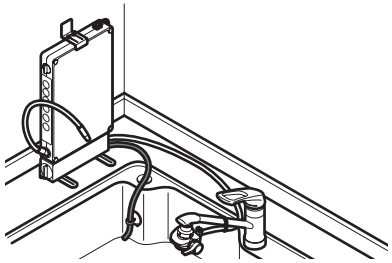
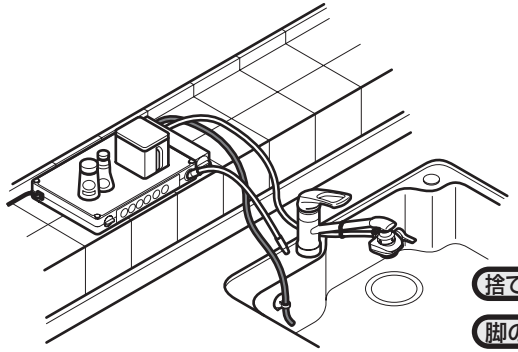
※上記のほかにも、TKN型や変形水栓、ねじ径(22mm以外)やパイプ径の違うものがあり、取り付けできない場合もありますのでご注意ください。
(TKF51・TKC型には取り付けできません)

お知らせ

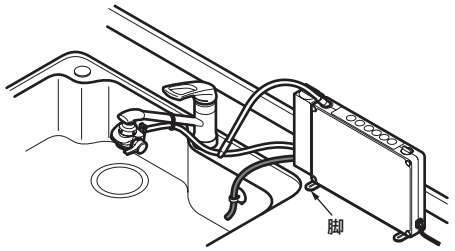
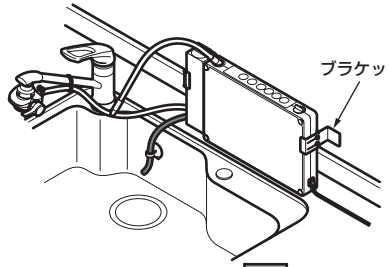
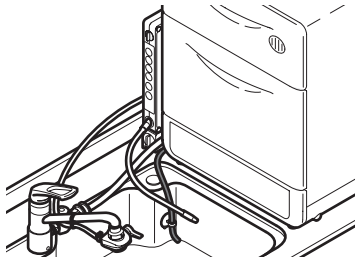
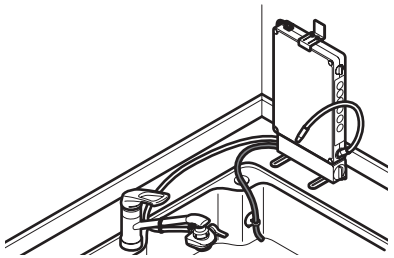
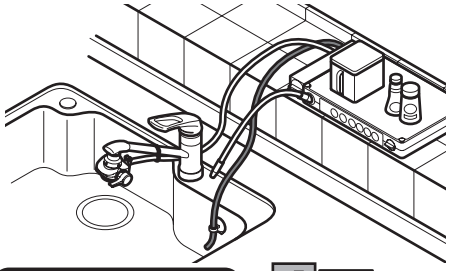
●ねじ径の違う水栓については、別売りのアダプターを使用することで取り付けられる場合があります。
●先端部にふくらみのない水栓の場合、別売りのTHD2をご用意ください。

詳しくはP.7の「別売品(先端分岐金具取付用部品)」をご覧ください。

3 設置方法および固定部品の選定 (10通りの設置方法からお選びください)

	水栓の左側に生成器本体を設置する場合	
	卓上設置	壁付け設置
横置き	 捨て水ホースの取り付け ➡ 4 1-1 へ 脚の取り付け ➡ 4 2-1 へ	 捨て水ホースの取り付け ➡ 4 1-1 へ ブラケットの取り付け ➡ 4 3-1 へ
縦置き	 捨て水ホースの取り付け ➡ 4 1 へ 脚の取り付け ➡ 4 2-2 へ	 捨て水ホースの取り付け ➡ 4 1-2 へ ブラケットの取り付け ➡ 4 3-2 へ
平置き	 捨て水ホースの取り付け ➡ 4 1-1 へ 脚の取り付け ➡ なし	

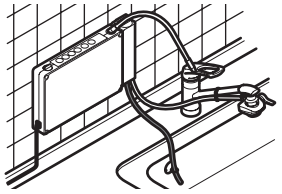
水栓の右側に生成器本体を設置する場合

	卓上設置	壁付け設置
横置き		
	捨て水ホースの取り付け ➡ 4 1-2 へ	捨て水ホースの取り付け ➡ 4 1-2 へ
	脚の取り付け ➡ 4 2-1 へ	ブラケットの取り付け ➡ 4 3-1 へ
縦置き		
	捨て水ホースの取り付け ➡ 4 1 へ	捨て水ホースの取り付け ➡ 4 1-1 へ
	脚の取り付け ➡ 4 2-2 へ	ブラケットの取り付け ➡ 4 3-2 へ
平置き		
	捨て水ホースの取り付け ➡ 4 1-1 へ	
	脚の取り付け ➡ なし	

お知らせ

別売りの壁掛金具を使用すると、壁にも設置可能です。

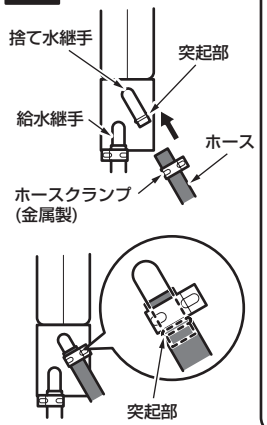
詳しくはP.7の「別売品」をご覧ください。



4 生成器本体の設置

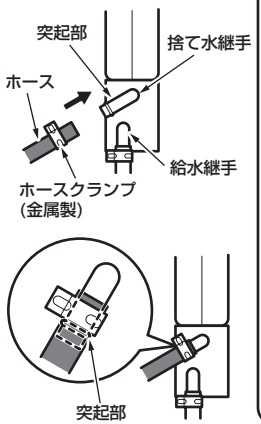
1 捨て水ホースの取り付け

1-1



1. 捨て水継手を給水継手の反対側に向ける。
2. ホースにホースクランプ(金属製)を取り付け、継手に差し込む。
3. ホースクランプ(金属製)を継手の突起部の奥でとめる。

1-2



1. 捨て水継手を給水継手側に向ける。
2. ホースにホースクランプ(金属製)を取り付け、継手に差し込む。
3. ホースクランプ(金属製)を継手の突起部の奥でとめる。

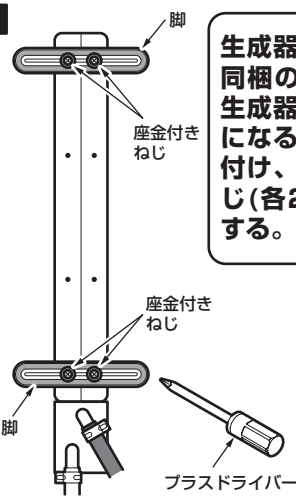
※ホースクランプのつまみが本体や設置面に当たらないようにしてください。

脚を使用する場合 ➡ 2 へ

ブラケットを使用する場合 ➡ 3 へ

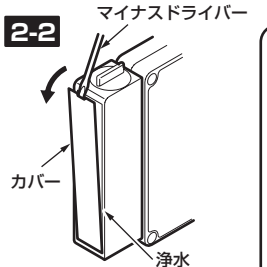
2 脚の取り付け

2-1

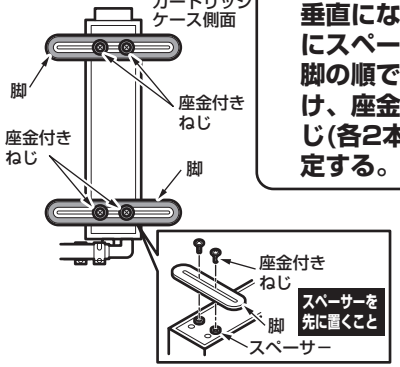


生成器本体底面に同梱の脚(2個)を生成器本体と垂直になるように取り付け、座金付きねじ(各2本)で固定する。

2-2



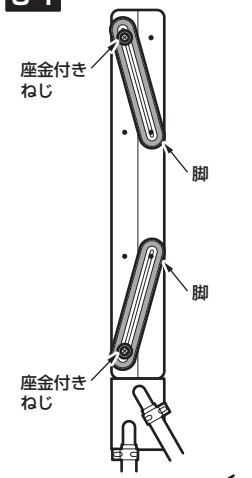
1. 浄水カートリッジケース側面にマイナスドライバーを差し込み、カバーを外す。
2. 同梱の脚(2個)を生成器本体と垂直になるようにスペーサー・脚の順で取り付け、座金付きねじ(各2本)で固定する。

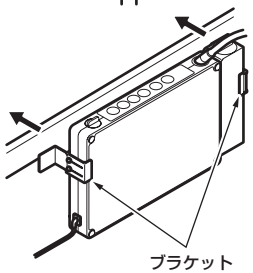


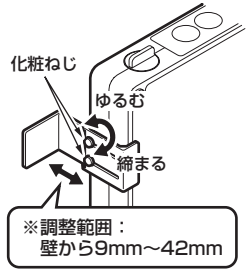
➡ 5 へ

3 ブラケットの取り付け

3-1





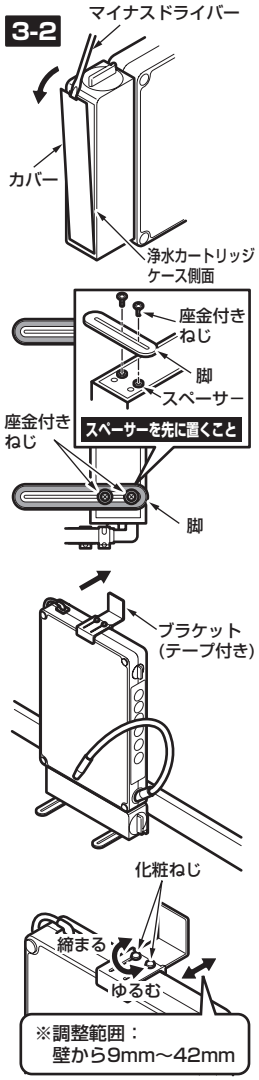


※調整範囲：
壁から9mm～42mm

1. 生成器本体底面に同梱の脚(2個)を左図のように取り付け、座金付きねじ(各1本)で固定する。
2. 生成器本体の両端にブラケットを取り付ける。(2個)
3. ブラケットを壁に貼る。
4. ブラケットの化粧ねじをゆるめお好みの位置に調節し、化粧ねじを締め、固定する。

5 へ

3-2

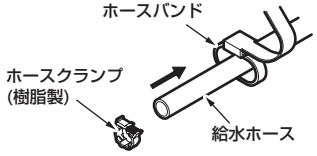


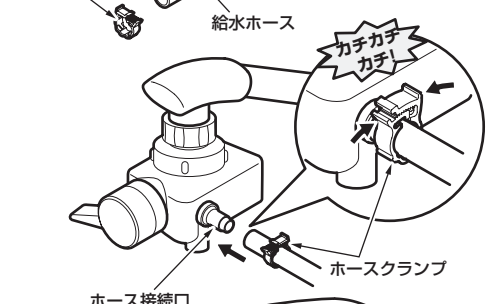
※調整範囲：
壁から9mm～42mm

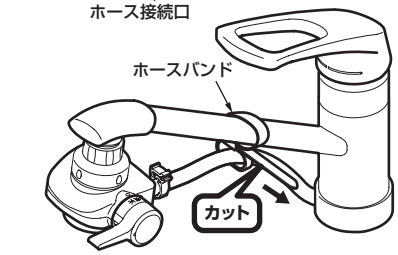
1. 浄水カートリッジケース側面にマイナスドライバーを差し込み、カバーを外す。
2. 同梱の脚(2個)を生成器本体と垂直になるようにスペーサー・脚の順で取り付け、座金付きねじ(各2本)で固定する。
3. 生成器本体の上部にブラケットを取り付ける。(1個)
4. ブラケットを壁に貼る。
5. ブラケットの化粧ねじをゆるめお好みの位置に調節し、化粧ねじを締め、固定する。

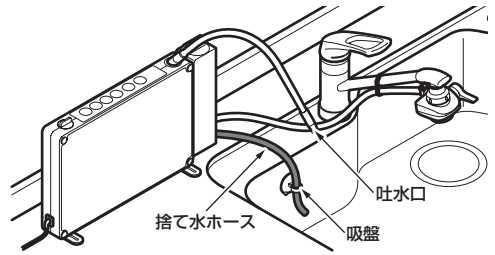
5 へ

5 給水・捨て水ホースの取り付け









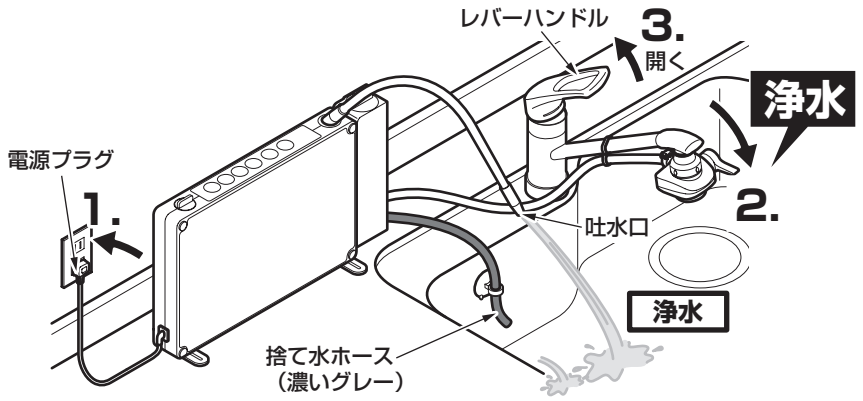
1. 給水ホースにホースバンドを通す。
2. 給水ホースにホースクランプを通す。
3. 先端分岐金具のホース接続口に給水ホースを差し込む。
4. ホース接続口と給水ホースの上を押さえるようにホースクランプを締め付ける。
   「カチカチカチ」と3回鳴るくらいが目安です。
5. 水栓にホースバンドを固定する。
   長い場合は、お好みの長さにカットしてください。
6. 捨て水ホースを吸盤で固定する。
7. 吐水口をシンク内に向ける。

※ホースが長い場合は、カッターなどで切ってください。
※ホースは折れ曲がりやねじれがないことを確認してください。

6 へ

3-5

⑥ 通水確認



1. 電源プラグをコンセントに差し込む。
"ピッ"と音がして、浄水ボタンの水質表示ランプ(緑色)が点灯します。

2. 先端分岐金具の切替ハンドルを『浄水』に切り替える。
"カチッ"と音がするまで回してください。

3. レバーハンドルを開く。
アルカリ3の水質表示ランプ(緑色)が点滅します。"ピーピーピー"・・・と鳴り続け、捨て水ホースから水が出ます。（約15秒間鳴り続けます）
※一度通水すると、"ピーピーピー"音が鳴らない場合があります。

通水中に水漏れがないことを確認する。

初回の通水は、1分間以上水を流す。
(浄水カートリッジの空気を抜くため)



安全弁について

水圧が高い場合、本体保護のため安全弁から水が出ることがあります。

水栓に止水栓がついている場合は、止水栓で安全弁から水が出ないように流量を調節してご使用ください。
水栓に止水栓がついていない場合は、水栓の開閉ハンドルで安全弁から水が出ないように流量を調節してご使用ください。



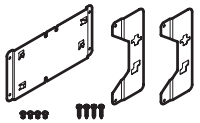
お知らせ
●本体故障の原因となりますので、35℃を超える温水は流さないでください。
●電源投入時と最後の通水から5時間以上経過した通水時は、自動的に準備運転になります。

⚠注意
●準備運転中の水は飲用しないでください。

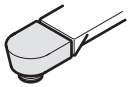
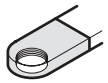
4 別売品

別売品 ※仕様･品番･希望小売価格は予告なしに変更する場合がありますのでご了承ください。

部品のお求めは、**TOTOメンテナンス（株） TOTOパーツセンター**にお問い合わせください。
(2015.12現在)

部品名	壁掛金具
形状	
品番	THD6
希望小売価格	6,650円 (税抜)

＜先端分岐金具取付用部品＞
ねじ径の違う水栓については、別売りの先端分岐金具取付用部品を使用することで取り付けられる場合があります。
(2015.12現在)

形状	先端にふくらみのない水栓	外ねじの水栓			内ねじの水栓	
						
ねじ径	ー	W26×山20	W24×山20	M22×P1.25	M24×P1.0	W24×山20
品番	THD2	THD7-2	THD7-3	THD7-4	THD8-1R	THD8-2
						
希望小売価格	1,150円 (税抜)	2,300円 (税抜)	2,300円 (税抜)	3,000円 (税抜)	1,150円 (税抜)	3,000円 (税抜)

注意
●ねじの締め忘れによる水漏れやガタツキなど、正しいお取り替えをされなかったことによる不具合は保証いたしかねますので、あらかじめご了承ください。
●この説明書の中にあります、品番や希望小売価格・送料は予告なく変更する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

＜パイプ径測定用紙＞
色のついた部分を上にしてパイプにあて、巻いてお使いください。パイプの太さが測定できます。

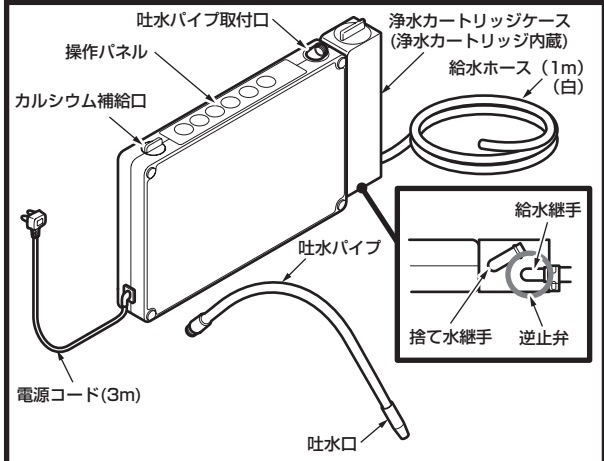


※同梱の取扱説明書などは、必ずお客様にお渡しください。

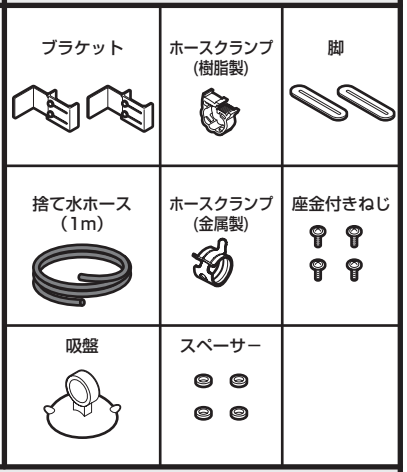
2 部品の確認

※開梱後、下記部材が入っていることを確認してください。
※梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性がありますが、商品には問題ありません。

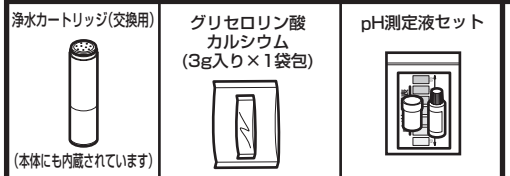
生成器本体



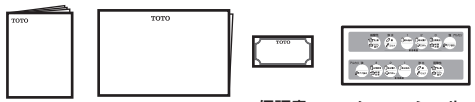
本体取り付け用



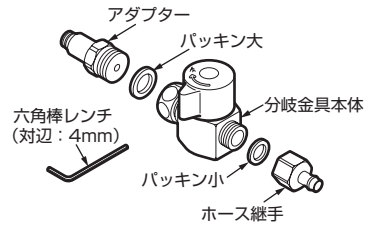
消耗部品



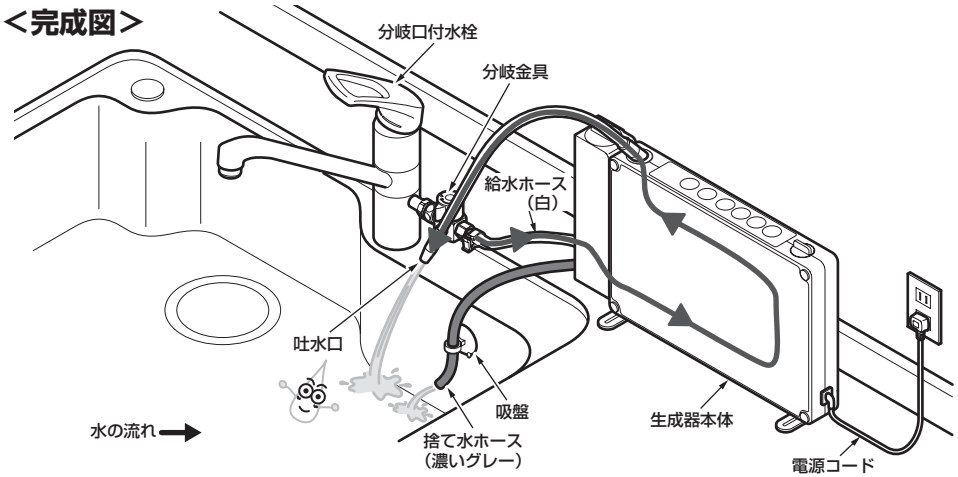
その他



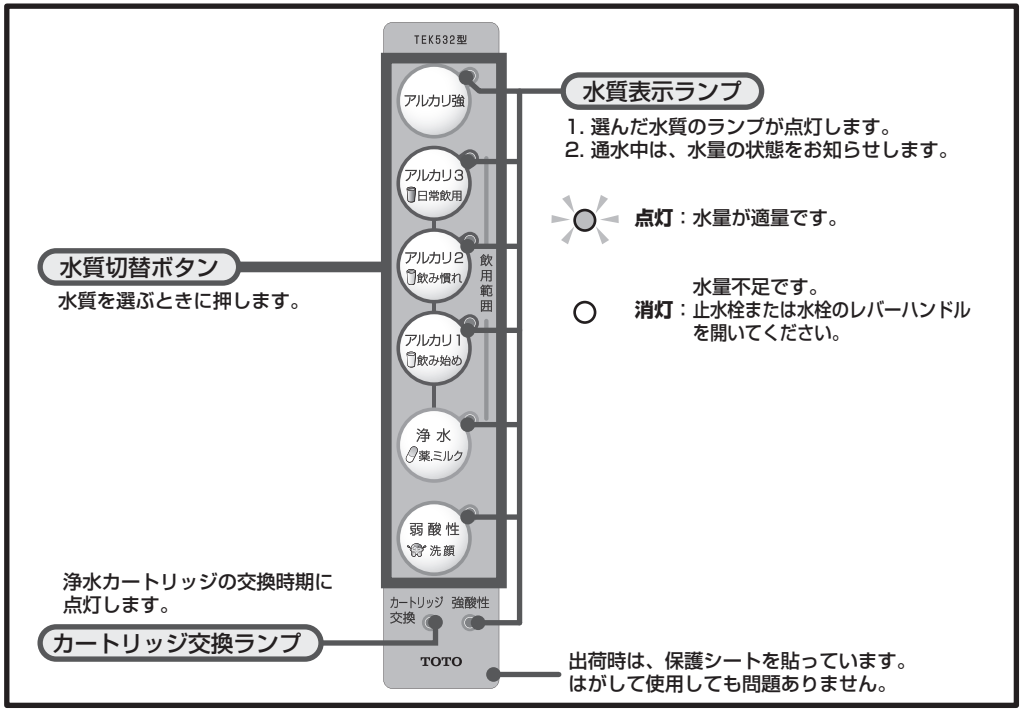
分岐金具（TEK532-1型）



＜完成図＞



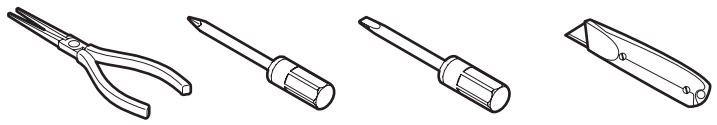
操作パネル



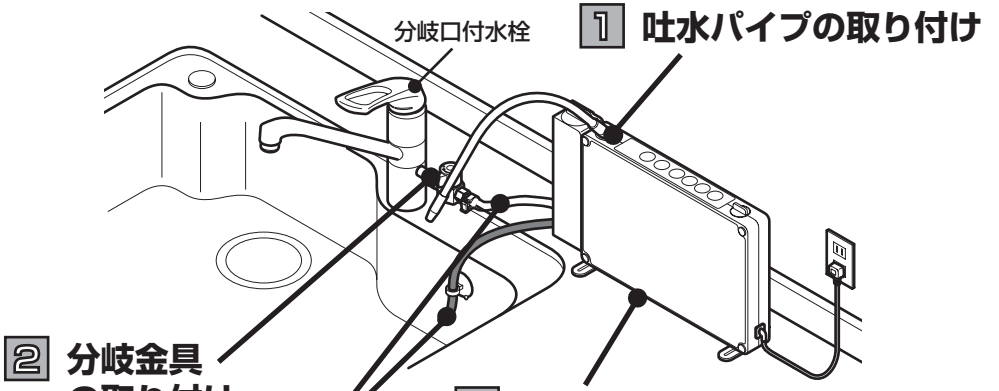
3-1 取付手順

用意するもの

※設置位置により使用しない場合があります。



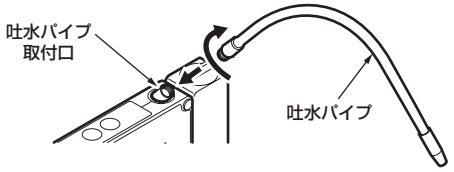




お願い

生成器本体の上方から、ぬれた食器やまな板などのしずくがかからないようにしてください。

1 吐水パイプの取り付け



吐水パイプ取付口に吐水パイプをねじ込む。

2-1 分岐金具の取り付け（本体を水栓の右側に設置する場合）

1 元栓を閉める

重要

止水栓または配管部の元栓を閉める。

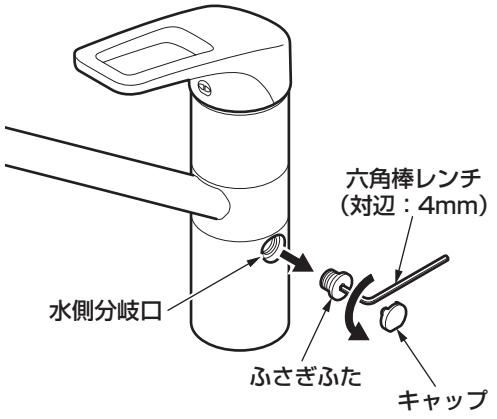
2 ふさぎふたの取り外し

①精密ドライバーまたは先端の細いマイナスドライバーなどで水栓の水側分岐口（右側面）のキャップを外す。

②ふさぎふたを六角棒レンチ(対辺：4mm)で取り外す。

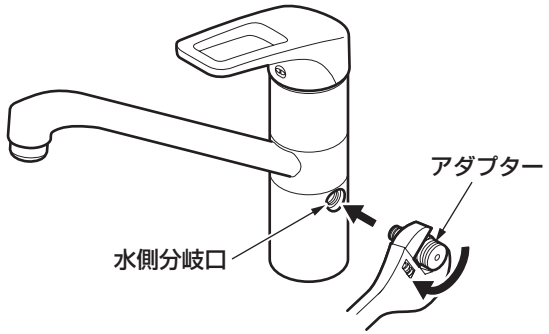
注 意

向かって右側が水側分岐口です。
左側は湯側分岐口ですので接続しないでください。



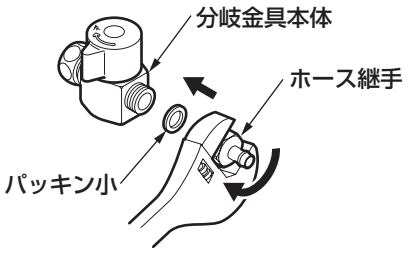
3 アダプターの取り付け

水側分岐口にアダプターを工具でしっかり取り付ける。



4 ホース継手の取り付け

分岐金具本体にホース継手を工具でしっかり取り付ける。



5 分岐金具本体の取り付け

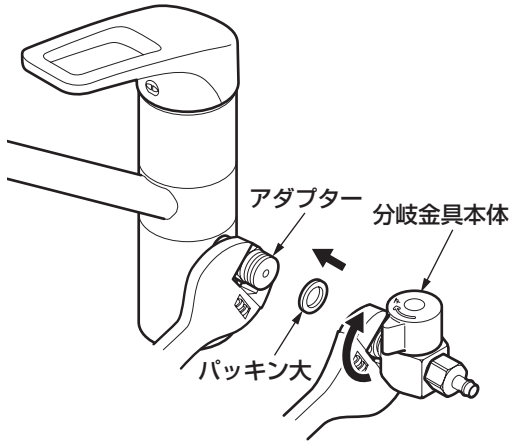
アダプターを固定して、分岐金具本体を工具でしっかり取り付ける。

注　意

●取り外したキャップとふさぎふたおよび六角棒レンチは大切に保管してください。

●めっき表面を傷つけないように注意してください。

●アダプターの六角面を工具で固定し、アダプターが回らないようにして取り付けてください。
アダプターが回ると、接続部が破損し、水漏れのおそれがあります。



2-2 分岐金具の取り付け（本体を水栓の左側に設置する場合）

1 元栓を閉める

重要

止水栓または配管部の元栓を閉める。

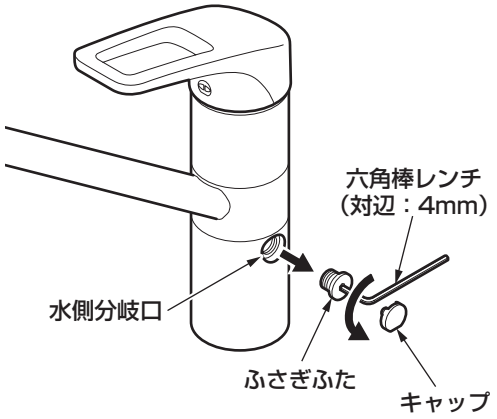
2 ふさぎふたの取り外し

①精密ドライバーまたは先端の細いマイナスドライバーなどで水栓の水側分岐口（右側面）のキャップを外す。

②ふさぎふたを六角棒レンチ(対辺：4mm)で取り外す。

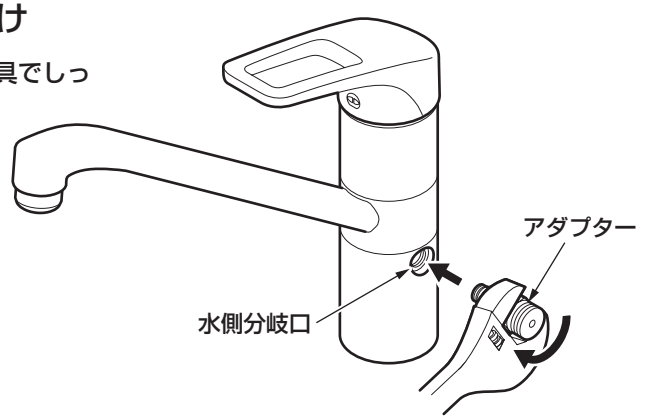
注　意

向かって右側が水側分岐口です。
左側は湯側分岐口ですので接続しないでください。



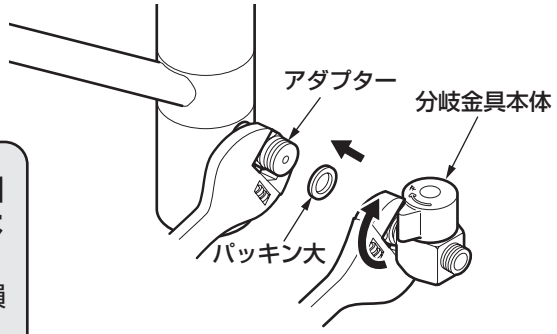
3 アダプターの取り付け

水側分岐口にアダプターを工具でしっかり取り付ける。



4 分岐金具本体の取り付け

アダプターを固定して、分岐金具本体を工具でしっかり取り付ける。



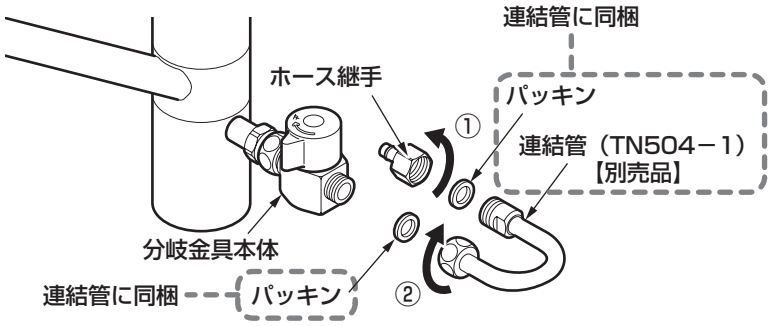
注　意

アダプターの六角面を工具で固定し、アダプターが回らないようにして取り付けてください。
アダプターが回ると、接続部が破損し、水漏れのおそれがあります。

5 連結管の取り付け

①連結管にホース継手を工具でしっかり取り付ける。

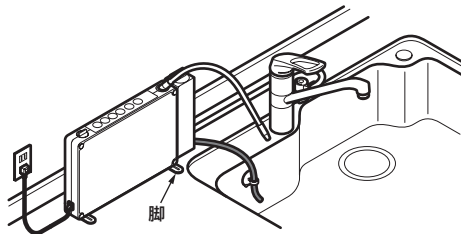
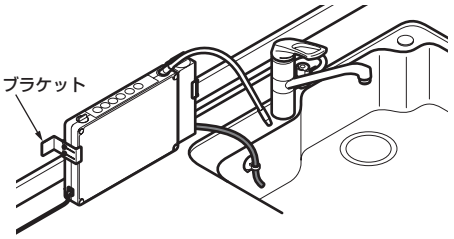
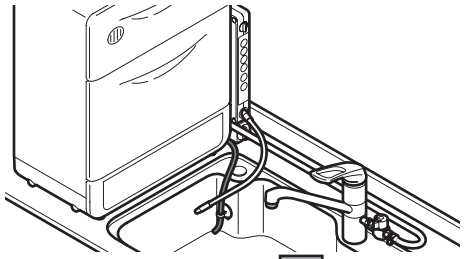
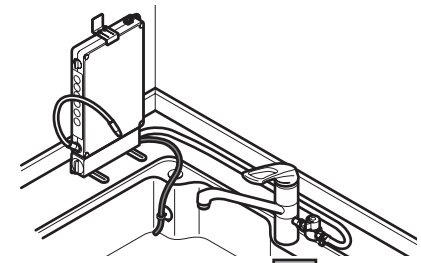
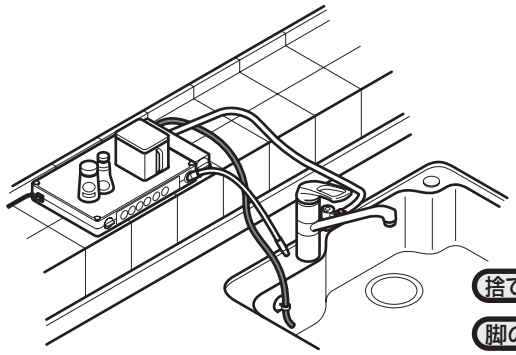
②分岐金具本体に連結管を工具でしっかり取り付ける。



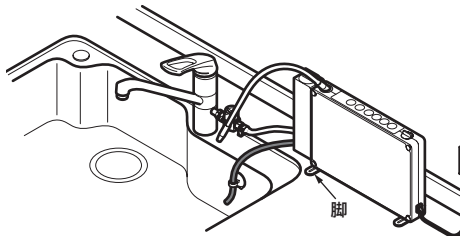
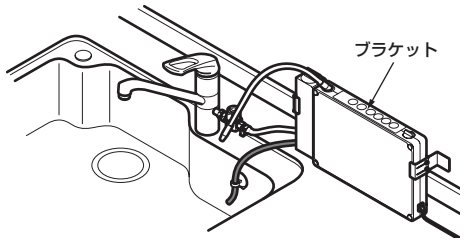
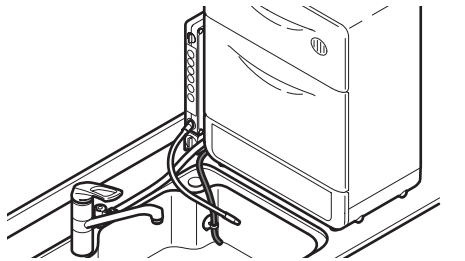
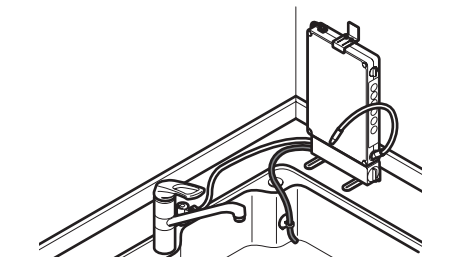
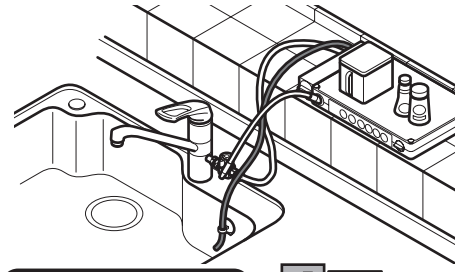
注　意

●連結管に同梱のパッキンを使用してください。
●取り外したキャップとふさぎふたおよび六角棒レンチは大切に保管してください。
●めっき表面を傷つけないように注意してください。

3 設置方法および固定部品の選定（10通りの設置方法からお選びください）

	水栓の左側に生成器本体を設置する場合	
	卓上設置	壁付け設置
横置き	 捨て水ホースの取り付け ➡ 4 1-1 へ 脚の取り付け ➡ 4 2-1 へ	 捨て水ホースの取り付け ➡ 4 1-1 へ ブラケットの取り付け ➡ 4 3-1 へ
縦置き	 捨て水ホースの取り付け ➡ 4 1 へ 脚の取り付け ➡ 4 2-2 へ	 捨て水ホースの取り付け ➡ 4 1-2 へ ブラケットの取り付け ➡ 4 3-2 へ
平置き	 捨て水ホースの取り付け ➡ 4 1-1 へ 脚の取り付け ➡ なし	

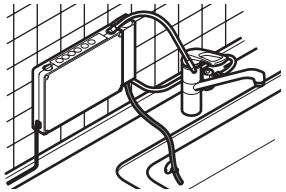
水栓の右側に生成器本体を設置する場合

	卓上設置	壁付け設置
横置き		
	捨て水ホースの取り付け ➡ 4 1-2 へ 脚の取り付け ➡ 4 2-1 へ	捨て水ホースの取り付け ➡ 4 1-2 へ ブラケットの取り付け ➡ 4 3-1 へ
縦置き		
	捨て水ホースの取り付け ➡ 4 1 へ 脚の取り付け ➡ 4 2-2 へ	捨て水ホースの取り付け ➡ 4 1-1 へ ブラケットの取り付け ➡ 4 3-2 へ
平置き		
	捨て水ホースの取り付け ➡ 4 1-1 へ 脚の取り付け ➡ なし	

お知らせ

別売りの壁掛金具を使用すると、壁にも設置可能です。

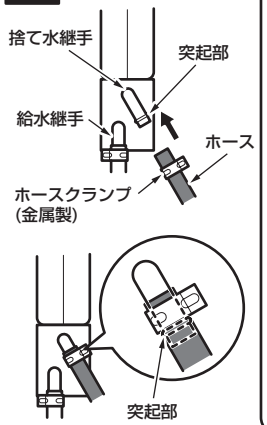
詳しくはP.7の「別売品」をご覧ください。



4 生成器本体の設置

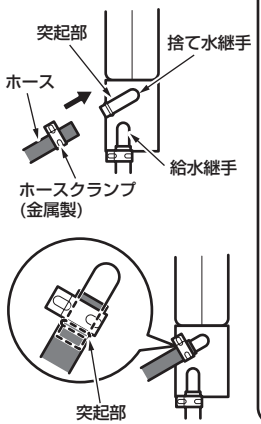
1 捨て水ホースの取り付け

1-1



1. 捨て水継手を給水継手の反対側に向ける。
2. ホースにホースクランプ(金属製)を取り付け、継手に差し込む。
3. ホースクランプ(金属製)を継手の突起部の奥でとめる。

1-2



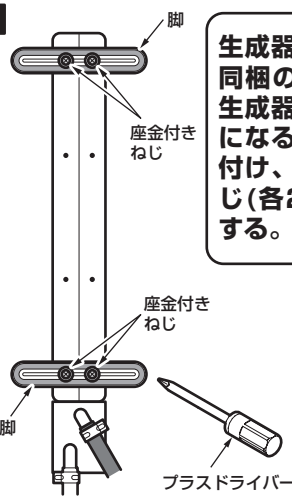
1. 捨て水継手を給水継手側に向ける。
2. ホースにホースクランプ(金属製)を取り付け、継手に差し込む。
3. ホースクランプ(金属製)を継手の突起部の奥でとめる。

※ホースクランプのつまみが本体や設置面に当たらないようにしてください。

脚を使用する場合 ➡ 2 へ
ブラケットを使用する場合 ➡ 3 へ

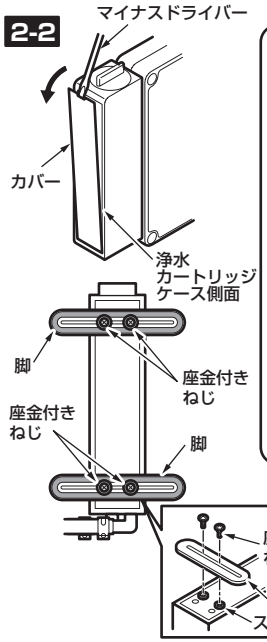
2 脚の取り付け

2-1



生成器本体底面に同梱の脚(2個)を生成器本体と垂直になるように取り付け、座金付きねじ(各2本)で固定する。

2-2

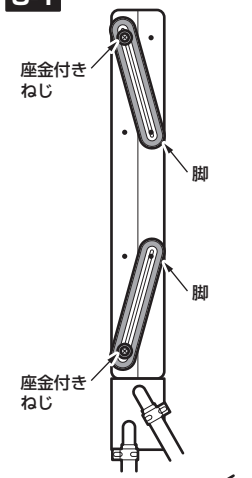


1. 浄水カートリッジケース側面にマイナスドライバーを差し込み、カバーを外す。
2. 同梱の脚(2個)を生成器本体と垂直になるようにスペーサー・脚の順で取り付け、座金付きねじ(各2本)で固定する。

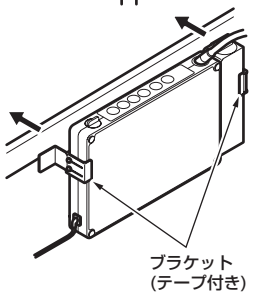
➡ 5 へ

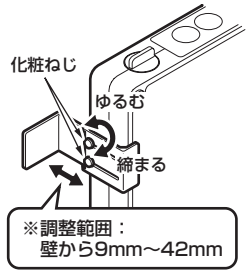
3 ブラケットの取り付け

3-1



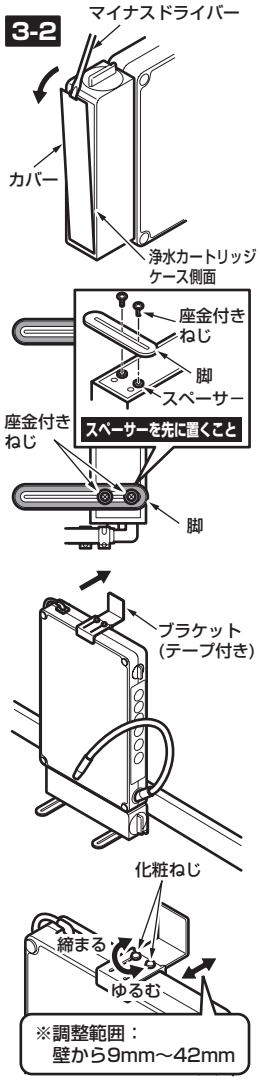
1. 生成器本体底面に同梱の脚(2個)を左図のように取り付け、座金付きねじ(各1本)で固定する。
2. 生成器本体の両端にブラケットを取り付ける。(2個)
3. ブラケットを壁に貼る。
4. ブラケットの化粧ねじをゆるめお好みの位置に調節し、化粧ねじを締め、固定する。





5 へ

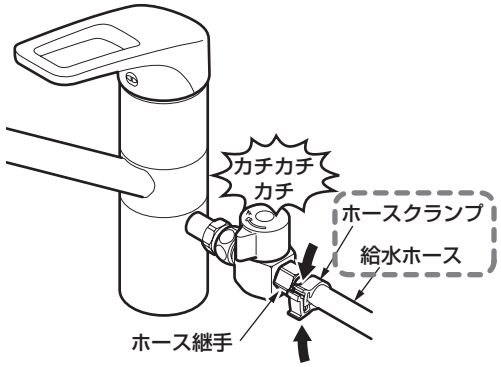
3-2



1. 浄水カートリッジケース側面にマイナスドライバーを差し込み、カバーを外す。
2. 同梱の脚(2個)を生成器本体と垂直になるようにスペーサー・脚の順で取り付け、座金付きねじ(各2本)で固定する。
3. 生成器本体の上部にブラケットを取り付ける。(1個)
4. ブラケットを壁に貼る。
5. ブラケットの化粧ねじをゆるめお好みの位置に調節し、化粧ねじを締め、固定する。

5 へ

5 給水・捨て水ホースの取り付け

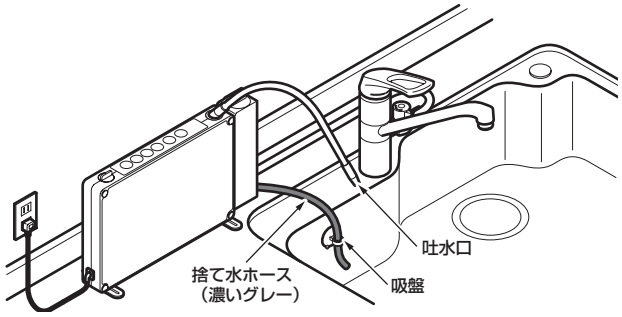


1. 給水ホースにホースクランプを通す。
2. ホース継手に給水ホースを接続し、ホースクランプで固定する。
   「カチカチカチ」と3回鳴るくらいが目安です。
3. 捨て水ホースを吸盤で固定する。
4. 吐水口をシンク内に向ける。

※ホースが長い場合は、カッターなどで切ってください。
※ホースは折れ曲がりやねじれがないことを確認してください。

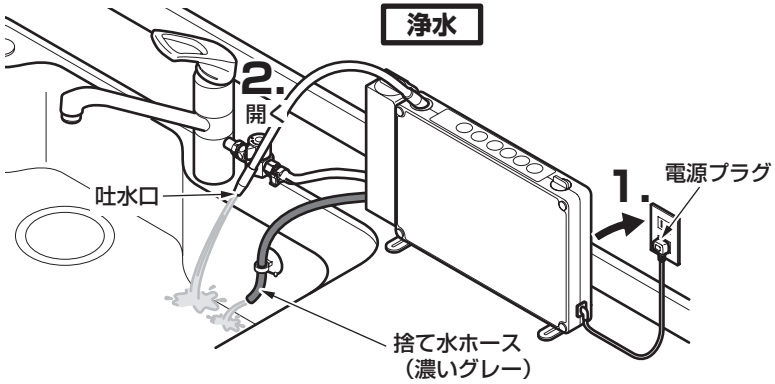
注 意

クランプはホースの抜けを防ぐためのものです。必ず取り付け、確実に締め付けてください。（カチカチカチと3回鳴るくらいが目安です）



3-6

⑥ 通水確認



1. 電源プラグをコンセントに差し込む。
"ピッ"と音がして、(浄水)ボタンの水質表示ランプ(緑色)が点灯します。

2. 浄水ハンドルを開く。
(アルカリ3)の水質表示ランプ(緑色)が点滅します。"ピーピーピー"･･･と鳴り続け、捨て水ホースから水が出ます。（約15秒間鳴り続けます）
※一度通水すると、"ピーピーピー"音が鳴らない場合があります。

通水中に水漏れがないことを確認する。

初回の通水は、1分間以上水を流す。
（カートリッジの空気を抜くため）

お知らせ ●本体故障の原因となりますので、35℃を超える温水は流さないでください。
●電源投入時と最後の通水から5時間以上経過した通水時は、自動的に準備運転になります。

⚠注意 ●準備運転中の水は飲用しないでください。

※同梱の取扱説明書などは、必ずお客様にお渡しください。